

船舶事故等調査報告書

平成21年2月26日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008広第107号	
事故等名	貨物船清勇丸乗揚	
発生年月日時刻	平成20年7月14日13時40分ごろ	
発生場所	広島県大竹港	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年12月1日 広島・地方事故調査官が海難報告書を精査 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
認定した事実	船種・船名・総トン数 貨物船 清勇丸 199トン 船舶番号 133896 船舶所有者等 日東運輸株式会社	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 三級海技士(航海)	
負傷者	負傷者 なし	
損傷	船底及びプロペラに損傷	
事故等の経過	本船は、メタクリル酸メチル約200トンを積載し、船首2.2m、船尾3.3mの喫水をもって、広島県大竹市三菱レーヨン専用棧橋を離棧しようとした際、平成20年7月14日13時40分ごろ、船尾が水深約3mの浅瀬に接触し、直ぐに船体を点検したが船体に異常が見つからなかったため、航海を続けた。 その後、上架した際、船底及びプロペラに損傷を発見した。	
事実を認定した理由	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、操船を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が離棧時の操船を適切に行わなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	